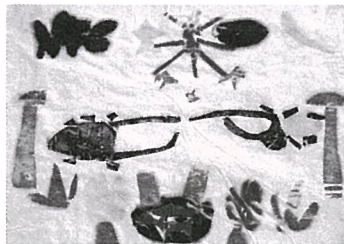




1年
郡司 貴央さん



『カブト虫のたたかい』

※カブト虫のからだやたいようを、一つ一つていねいにきってはりました。

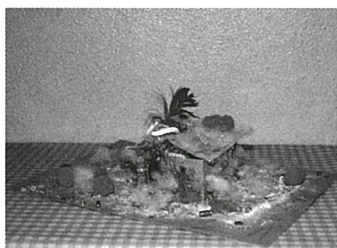


2年
伊東 瑞貴さん



『犬』

※いろいろなものの紙を板にはって、犬が遊んでいるところを版画にしました。



『ゴージャスな家』



3年
布施 伶奈さん

※家の中の家具はとても小さいので、作るのにとてもくろしました。



『初めて見た鳥の巣』



4年
川野 成美さん

※鳥をけずるのがたいへんでした。刷ったら、細かい線まで出てきました。

あつまれ みんなの 力作



5年
川島 一晃さん

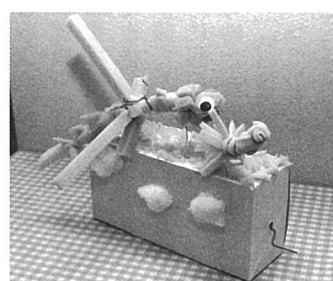
※形をとこのえで、のびのびと書けるように努力しました。

考える
川島 一晃



6年
土屋 隆香さん

※クランクの仕組みを利用して動く工作です。いいのができてよかったです。



『ドラゴンvs宇宙生物』

ひかり歌壇



伊藤 定男 (尾垂)

吹き溜り積もりし雪は溶けざりし
雪風凛と頬に冷めたき

久しぶりの雪で、吹きだまりに積もった雪はなかなか溶けない

安田 和子 (作間内)

乙女らのトリノへかける舞ひ姿
しばしテレビで華麗さを見る

乙女らの水上容姿に見とれる

越川 福子 (宮内)

登校の児等は積もれる新雪を
踏みつつ嬉々と投げ合ひて行く

初雪に喜び勇む姿が目につく

鈴木 益郎 (原方)

風風で水面に写る逆さ絵に
見馴れた景色忘る一時

越川 義則 (二又)

待ち望む三宅の人の帰島にも
ガスの濃度のしばしためらい

高梨 キヨ (長塚)

思うこと思はざること大寒の
風の中より風の声聞く

土屋 好 (虫生)

長火鉢ほこり払へば灰固く
錆びたる火箸父の影たつ

評者詠 鈴木甲子幸

功勞の叙勲を胸に大先輩
九十六歳の大往生となる